

平成28年度 みやざき小中学校学習状況調査の結果（概要）

宮崎県教育委員会

1 実施の概要

調査目的	県内の公立小・中学校及び中等教育学校(前期課程)、特別支援学校の小・中学部における児童生徒の学習の定着状況を把握・分析し、その結果をもとに、学校における学習指導の充実・改善等に役立てる。	
実施期日	平成28年9月5日(月)～8日(木)	
対象学年・教科 調査人員	小学校第5学年：国語、社会、算数、理科	9,863人
	中学校第2学年：国語、社会、数学、理科、英語	9,908人
調査対象校	市町村立小学校 [234校]・中学校 [128校] ※ 調査対象児童生徒が在籍していない小学校 [4校] 中学校 [3校] (分校を含む) は、除いている。 五ヶ瀬中等教育学校(前期課程) 宮崎西高等学校附属中学校 都城泉ヶ丘高等学校附属中学校 特別支援学校 [3校] (小学部1・中学部3) (調査の実施を希望する学校) 宮崎大学教育学部附属小学校 / 宮崎大学教育学部附属中学校	

2 調査の結果

(1) 小学校第5学年

(%)

教科	教育事務所別平均正答率	
	教育事務所名	平均正答率
国語	中部	61
	南部	61
	北部	60
	県全体	61
社会	中部	50
	南部	48
	北部	49
	県全体	50
算数	中部	67
	南部	65
	北部	65
	県全体	66
理科	中部	60
	南部	61
	北部	62
	県全体	61
4教科平均	中部	60
	南部	58
	北部	59
	県全体	59

○ 県の平均正答率は、調査対象校全て(小学校は、特別支援学校と宮大附属小、中学校は、県立3中学校、特別支援学校、宮大附属中含む)の正答率の平均で、教育事務所別の平均正答率は、各教育事務所管内の市町村立学校における正答率の平均です。

(2) 中学校第2学年

(%)

教科	教育事務所別平均正答率	
	教育事務所名	平均正答率
国語	中部	65
	南部	64
	北部	64
	県全体	65
社会	中部	54
	南部	54
	北部	53
	県全体	55
数学	中部	56
	南部	52
	北部	53
	県全体	55
理科	中部	52
	南部	49
	北部	48
	県全体	51
英語	中部	65
	南部	61
	北部	61
	県全体	64
5教科平均	中部	58
	南部	56
	北部	56
	県全体	58

○ 全教科の県全体の平均正答率は、小学校は59ポイント、中学校は58ポイントであり、教育事務所間の差をみると、最も高い地域と最も低い地域の差は、小学校、中学校ともに2ポイントである。

○ 各教科における教育事務所間の差が大きいものは、小学校は、社会・算数・理科が2ポイントの差である。中学校では、数学・理科・英語の差が4ポイントとなっている。逆に、教育事務所間の差が最も小さい教科は、小学校は国語で1ポイント、中学校は国語・社会で1ポイントである。